

第2回保育部会研修委員会報告書

浜田市保育連盟会長 山 崎 央 輝		保育部会長 宮本ゆかり(れんげ保育園) 研修委員長 杉野千夏(みのり保育園)			
開催 日時	令和6年1月22日(月)	開催場所	浜田市 総合福祉センター (ボランティア室)	記 録 者	三浦麻紀子 (波佐保育園)
	13:30 ~ 15:00				
出席 園	今福・うみかぜ・つくし・美川・浜田ひかり みのり・みのり第2・三保・波佐			欠 席 園	なし

協議事項

1. 令和5年度各研修会の報告・反省

①救命講習 1回目…6月19日(月)、2回目…6月21日(木)

- ・毎年必須で参加し意識することで、思い出すきっかけになった。
- ・熱中症などの症状に、即つながり対応することができた。
- ・時期的には、プールが始まる前で、職員へ周知することができた。

②職員研修

8月4日(金)リモート開催 「発達障がい理解に基づく支援について」

講師 川崎医療福祉大学 子ども医療福祉学科 重松孝治氏

- ・リモート開催で、午後からの時間で多くの職員が参加して視聴することができた。
- ・参集型にしても良いと思うが、同時に多くの職員が視聴できるのはリモート開催が良いのかもしれない。

③造形研修

8月24日(木) 浜田市総合福祉センター 「アートによる保育を体験しよう」

講師 大田慶氏

- ・たくさんの素材(材料)が準備してあり、始めはどうしたらいいのか考え迷う感じだったが、時間が経つにつれ集中して作業することができた。
- ・素材に触れることから、素材を選んだのは自分だから、アートに携わっているという話が印象に残った。

2. 令和6年度研修内容についての検討

①救命講習

- ・毎年プールが始まる前に実施した方が良い。
- ・ケガの時や虫刺されなどへの応急手当も実施内容に加えることができないだろうか。可能な範囲で出来るか消防の方へ問い合わせしてみる。もしくは、2回開催のうち1回を応急手当の講習にしてもよいかも。
- ・実際の発生事案に合わせて、実践する形式を取り入れてみる。

②職員研修

- ・子ども主体性に取り組んでいくことをふまえて、連盟内外の園を訪問して公開保育を見学したい。
- ・多くの職員が参加できるように、リモート開催をする。

③造形研修

- ・もう一度同じ講師先生(大田慶氏)の講習をお願いします。
- ・今回参加していない職員が出て来られるようにする。

3.今年度研修委員を終えての感想

- ・各研修の内容や講師先生もよかった。
- ・委員会では、気軽に話すことができ、自分のためにも、内容的には充実していた。
- ・計画や準備などの裏方を通して、研修がこんな風で開催されているんだとわかった。

○次回 第3回研修委員会は、5月下旬頃の予定。

令和5年度各研修会の報告・反省を行いました。救命講習は、毎年プール前に参加することで意識して思い出すきっかけになり、職員研修ではリモート開催で多くの職員が参加し学ぶ機会をもつことができました。造形研修では自由な発想で使いたいものを選び製作を進めて、作る事の楽しさを感じられた研修となりました。各研修からの感想をふまえて意見交換し、令和6年度の研修内容を検討することができ、充実した時間となりました。次回の研修委員会では、研修内容を取り決めて準備を進めていこうと思います。

※この報告書全文は連盟HP 会員向けページに掲載します。又、下欄は活動報告ページに掲載します。